

企業防衛の鍵は メンタルヘルス対策!

企業の危機管理と保険の有効活用

著者：吉光 隆／肥塚道明

メンタルヘルス対策は、 企業の重点課題のひとつ

職場における労働者の安全と健康の確保をより一層推進するため、「労働安全衛生法」が改正(平成18年4月)され、経営者は自主的な安全衛生活動の促進と、メンタルヘルス対策などが求められるようになりました。

こうした背景には、業種・職種にもよりますが、危険勤務や過重労働、人間関係によるストレスなどで、心の健康が保てない、例えば「心の風邪」といわれる『うつ病』などの精神疾患による長期入院、最悪は自殺に至るなど、労働者への負荷が拡大する傾向にあることなどが挙げられます。

一方、経営者も、労務管理や資金繰り・後継者問題などさまざまな問題を一人で抱える重圧とストレスは並大抵のものではなく、経営者へのメンタルヘルス対策もリスク管理という意味で非常に重要な位置を占めます。

本書は、企業の危機管理のひとつとして、メンタルヘルス対策がいかに重要であるかを経営者に提唱すると共に、万一に備えた対応策としての保険の有効性を、個人向け・法人向けに分け提案しています。

今までにない切り口の当冊子を情報提供ツールとしてご活用ください。



B5判／本文32ページ／2色刷り
定価630円(税込)

●本書の主な内容

1. メンタルヘルスとは?
2. 企業におけるメンタルヘルス対策の重要性
3. 労働安全衛生法とメンタルヘルス対策
4. 精神障害者への労災認定とメンタルヘルス対策
5. 安全配慮義務違反と企業の賠償責任
6. 長時間労働における心と身体の関係
7. 労働者の心の健康の保持促進のための指針
8. メンタルヘルス対策として心がけておきたいこと
9. メンタルヘルス対策と労務管理
10. 企業のメンタルヘルス対策に対する取り組みのあり方
11. 生命保険・損害保険の意義
12. 経営者のメンタルヘルス対策
13. 保障のない経営者の遺族のために

月刊誌と連動!

本書の活用方法は、月刊『ベストプランナー』2007年5月号特集「メンタルヘルス対策と保険提案」で紹介しています。こちらではメンタルヘルス対策を切り口とした保険へのつながりを紹介していますので、ぜひ併せてお読みいただき、日々の活動にお役立てください。

*表紙、内容、ページ数等一部変更となる場合があります。